

3
2020

湯原図書館だより



▼ 休館のお知らせ（3月16日～4月下旬）

湯原図書館は、湯原ふれあいセンターへの移転のため、3月16日（月）から臨時休館とさせていただきます。

4月下旬に、新しい図書館での開館を予定しています。

皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご了承のほどよろしくお願いいたします。

※ 注意事項 ※

☑ 休館中、湯原図書館の本は貸出・予約ができません。

☑ 予約した本を湯原図書館で受け取りたい場合は、3月9日（月）までに予約してください。

● 休館中の本の返却

湯原振興局前にある返却ポストへ入れていただくか、市内の他の図書館へお返してください。

※岡山県立図書館のHPなどで直接 Web 予約をした本は、返却ポストを利用できませんのでお気をつけください。

湯原図書館の休館中は、ぜひ市内の他の図書館（中央・久世・落合・北房・蒜山・美甘）をご利用ください。

返却ポスト

返却ポストは振興局の正面玄関よりさらに右手にあります。
休館中の本の返却はこちらへどうぞ。



ゆばらとしよかん
湯原図書館

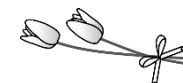
まにわしとよさか
真庭市豊栄1515
湯原振興局 1F

【TEL】

0867-62-2011

かいかんじかん
【開館時間】

ごぜん 午前9：00～午後5：00



◀ 今月のカレンダー ▶

【休館日】 毎週月曜日

3/16～ 臨時休館

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

休館日の返却本は、振興局前にある返却本ポストへ入れて下さい。



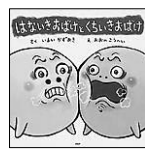
「イマジン？」/有川ひろ
 憧れていた映像制作の現場に飛び込んだ、良井良助。専門用語が飛び交う慣れない現場であたふたする良助だったが、作品と向き合う仲間たちの熱気に、焦がれるような思いを募らせ…。涙と笑顔と元気が湧いてくる、待望の最新お仕事小説！



「歌舞伎座の怪紳士」/近藤史恵
 家事手伝いの岩居久澄のもとに舞い込んだ、観劇代行という奇妙なアルバイト。久澄は徐々に芝居の世界にのめり込んでいくのだが、一つ疑問があった。劇場でいつも会う親切な老紳士。あの人はいったい何者…？



「涼子点景1964」/森谷明子
 1964年のオリンピック決定に沸く東京で、競技場近くに住む一人の男が失踪した。娘は自分の居場所と未来を手に入れるため、幸運を味方に生き抜いてゆく——。緻密な伏線と謎が心を揺めとる長編ミステリー。



「はないきおばけとくちいきおばけ」/いまいかずあき
 鼻で息をする「はないきおばけ」と、口で息をする「くちいきおばけ」は、いつも競争しているライバルで…。「呼吸」をテーマに、鼻呼吸の習得の必要性を説く絵本。



「みんなのおすし」/はらぺこめがね
 へい、らっしやい！うちのおすしは、みんなのおすし。ちょっと変わったお客さんにも、ぴったりのおすしを握りますよ。おなかを空かせたお客が集まる、不思議なおすし屋のお話。

- 踏み跡にたたずんで(小野正嗣)
- まむし三代記(木下昌輝)
- ホテルクラシカル猫番館②(小湊悠貴)
- 怪盗探偵山猫⑥(神永学)
- おいしいペランダ。⑧(竹岡葉月)

- ふとんがふつとんだ(新井洋行)
- みみみみ(川之上英子)
- おおゆき(最上一平)
- たいこ(樋勝朋巳)
- ふみきりくん(えのもとえつこ)
- わたしねこがかいたいの(ミシェル・ロビンソン)

新着

本

紹介

＊実用書

- 地図を回すとこれからの世界が見えてくる(豊田隆雄)
- 60代から頭がよくなる本(高島徹治)
- HSP！自分のトリセツ(高野優)
- 老犬たちの涙 “いのち”と“こころ”を守る14の方法(児玉小枝)

- りんごのおやつ(権出版社)
- つきの家族食堂 毎日のごはん作りがラクになるおかずの本(長田知恵)
- 布合わせが楽しいハギレで作かんたんパッチワークこもの(ブティック社)



「定点写真でめぐる東京と日本の町並み」/二村高史
 見慣れた町の風景は、いつのまにかすっかり変わってしまう。北海道から沖縄まで、全国 206 箇所の過去(昭和・平成)と現在(令和)を「定点写真」で徹底比較。日本各地の変化を記録した今昔写真が満載。



「文庫本は何冊積んだら倒れるか/堀井憲一郎
 作家の名前はどの文字から始まるのが多いか、ジャン・バルジャンはどれぐらい出てこないか、芥川賞は何色がよく取っているのか等々。本にまつわる役に立たないことをゆるーく調査する。



「ネコ魔女見習いミルク」/ポーラ・ハリソン
 キャットジャンプ、キャットアイ！ネコと同じすごい力<キャットパワー>をもつ女の子ミルクは、ママみたいなネコ魔女になるために見習い中。ネコたちに頼まれたミルクが、恐ろしい声がする時計塔へ行ってみると…。



「スガリさんの感想文は」/いつだって斜め上/平田駒
 謎多き女子高生スガリさんと、愛知県内初の男性家庭科教諭・杏介が、読書感想部を立ち上げた。スガリさんは名作文学を斜めからぶった斬り、巻き起こる事件を解き明かすが…。

＊児童書



「アベベのぼうけん」/佐藤雅彦
 主人公・アベベは、ドドジ王国の王子。アベベは立派な王になるため、父の残したプログラムに挑戦する旅に出ています——。「プログラミング的思考」が身につく、まったく新しいプログラミングの絵本。